

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 106	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 三浦半島における冬作の新規導入作物の栽培実証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、ダイコンの出荷価格の低迷が続いている。こうした中、年内どりダイコン栽培の一部を早春キャベツ栽培に切り替える農家も見られるが、早春キャベツについても全国的に栽培面積は増加傾向で価格も伸び悩むことが多い。そこで、比較的高い出荷価格を見込むことができる品目として10月～12月どりコカブ及びレタスの栽培実証について要試験研究問題として提案したところだが、半島内の一部で導入が見られるニンジン（7月下旬～8月上旬は種、11月上旬～12月下旬収穫）についてもその代替品目の候補とし今後の本格的な導入を検討するため、品種の選定や栽培技術の実証が望まれる。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	新たななかなかわ特産品の開発 新たな作物・品種の探索による特産品の開発 三浦半島地域における新たな作物・品種の探索による特産品の開発		
対応の内容等	当所ではダイコン、キャベツの代替作物として、これまでニンニクやタマネギなどの安定生産技術の確立に取り組むとともに、昨年度に提案のあったレタスやコカブなどについても作型や品種の選定試験に取り組んでおります。 今回要望のあったニンジンについては、平成24年度に夏まきニンジンの品種特性検定試験を野菜作物研究部で行っていますが、当所での試験実績がないため、近隣の栽培事例等を参考にしながら、三浦半島に適した作型および品種の選定試験を行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			